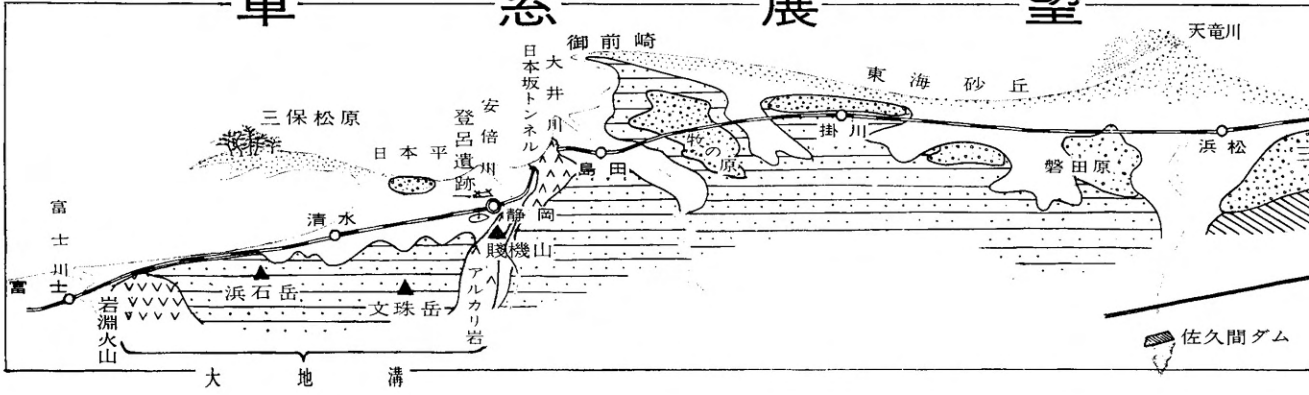


望 展 窓 車



富士 — 大 垣

(東海道その2)

東西日本を区切る地溝帯

富士川を渡るとそこは富士火山よりずっと以前のつまり第三紀の火山である岩淵火山のふもとである。

東海道は ようやくフオッサ・マグナ (大地溝) という名で呼ばれている 東西日本を区切る本州最大の断層帯にとびこんだのである。

右に密柑畑 左に製紙工場のならんだ岩淵の駅と富士川の町 左の車窓に駿河湾越しに富士山が見える唯一の場所 その富士川寄り一帯は安政地震のとき一夜に隆起したという地震山の名のあるところ そして日本軽金属蒲原工場の発電所に入るペンストック。

ここを富士川の水が 先ほど渡った富士川そのものの

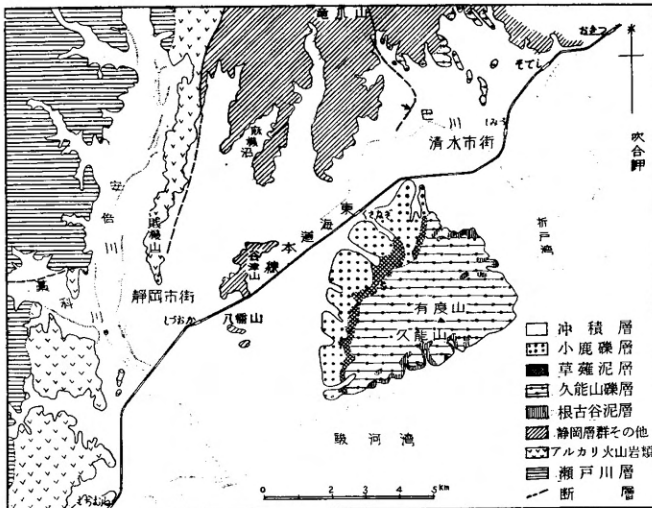
水よりはるかに豊富に…70個 (1個は2,400m³/日) も流れていることは御存知であろうか。

岩淵火山の金丸山の草つきの斜面が 右の車窓見上げる高さに望まれて 海に迫まる断崖は 文字通り東海道線という日本の幹線を 駿河湾の汀線すれすれに追い込んでいる。防波堤が完成したおかげでいくらか安心できるが 台風の折にびくびくしてここを通らなければならぬ時は 日本の国土のきゆうくつきをしみじみと味あわされる。

日本平と安倍川の谷

密柑畑のアーチをぬけてやがて東亜燃料工業の銀色のタンク群。そして やがて三保の松原の砂嘴にかこまれた 次郎長漬の清水港。

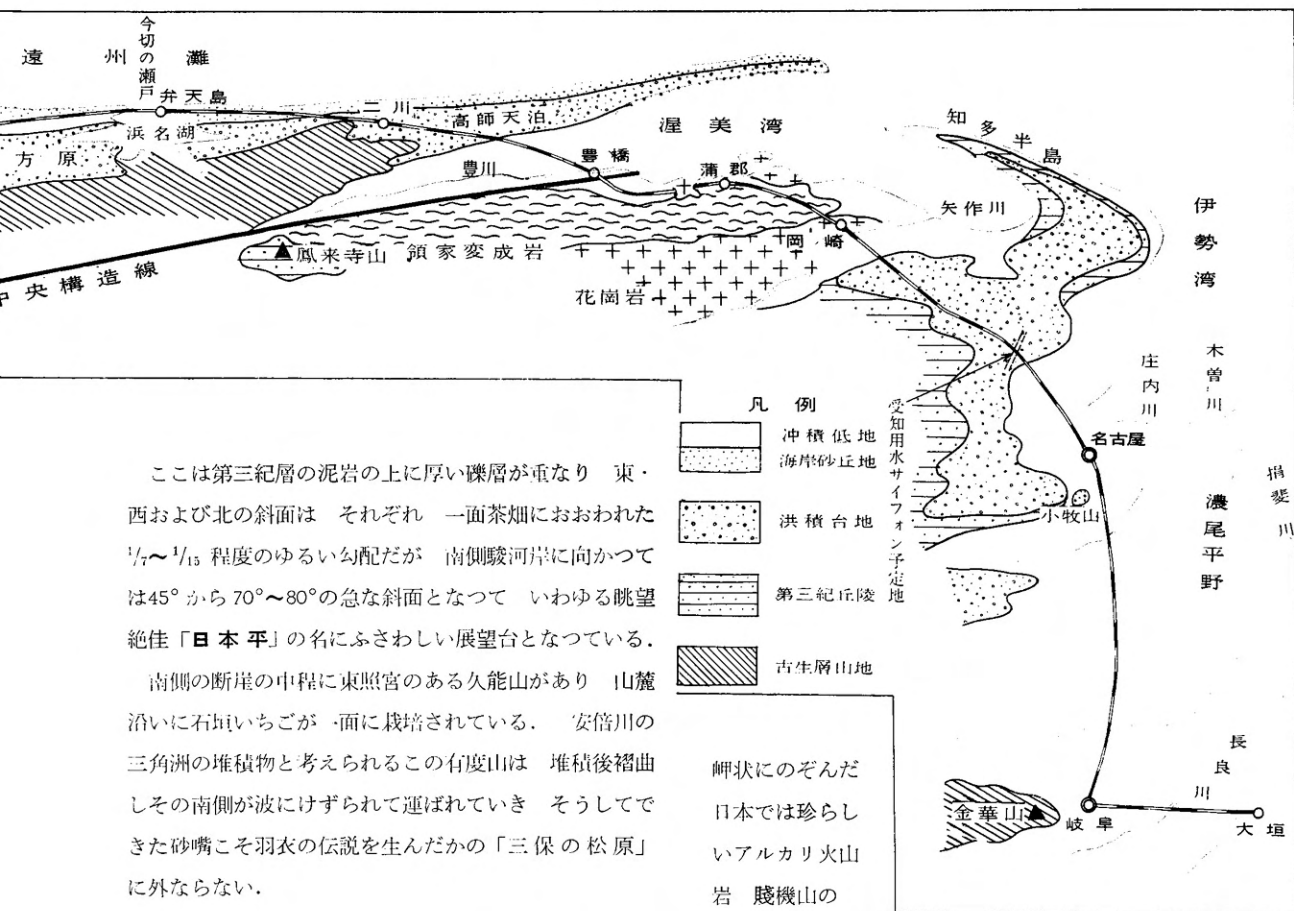
清水駅から草薙の駅にかけて右に天然ガスが出る巴川の低地 左にちやつきり節の発祥地 狐ヶ崎 その後に 海拔 308 m の日本平をのせた有度山が現われる。



清水 静岡両市付近の地質



洪積台地牧の原とその前面大井川の沖積原



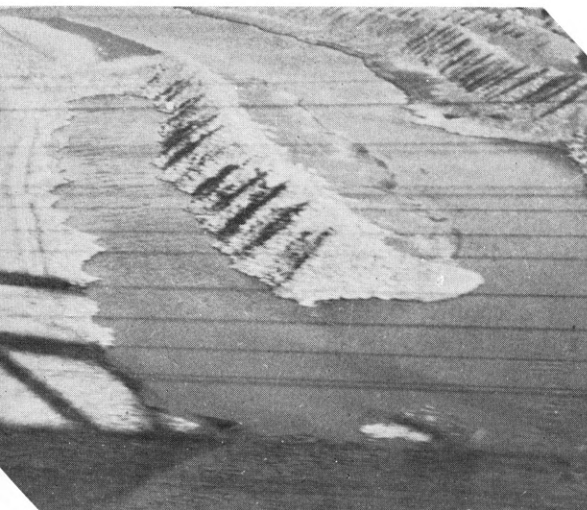
ここは第三紀層の泥岩の上に厚い礫層が重なり 東・西および北の斜面は それぞれ 一面茶畑におおわれた $\frac{1}{2}$ ~ $\frac{1}{3}$ 程度のゆるい勾配だが 南側駿河岸に向かつては 45° から 70° ~ 80° の急な斜面となつて いわゆる眺望絶佳「日本平」の名にふさわしい展望台となつている。

南側の断崖の中程に東照宮のある久能山があり 山麓沿いに石垣いちごが一面に栽培されている。安倍川の三角洲の堆積物と考えられるこの有度山は 堆積後褶曲しその南側が波にけずられて運ばれていき そうしてできた砂嘴こそ羽衣の伝説を生んだかの「三保の松原」に外ならない。

「静岡層群」という名で通つている頁岩・砂岩の互層でできた山が 静岡放送局のをせているのが見えると 列車は間もなく安倍川餅の静岡駅にすべりこむ。

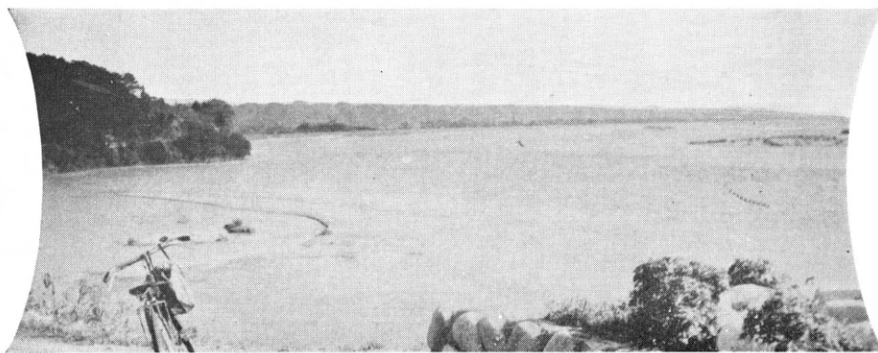
徳川家康駿府の城は駅の西北方 北から南に向かつて

安倍川餅の本家本元は安倍川の国道橋のたもとにあるが その安倍川は賤機山の西沿いに北から南に直線状に流れ下がつて 古くから河道の変遷をほしいままにして



河砂利の採取盛んな大井川 洪水の度にふくれ上がる河床は波藻によつて掘り下げられるが またたちまち元へ戻る

菊川駅付近にみられる第三紀層の互層



洪 積 台 地
磐 田 々 原 と 天 竜 川
(磐田用水取入口付近からの遠望)

おり2,000年の昔 登呂村の米作りもこの川の水にたよっていたと思われる。

現在でも元気一杯の安部川は 表流の大部分が伏流となつて河床の砂礫層中に吸い込まれ 静岡市の上水道や清水市の工業用水道など好個の水源となつている。

その名も日本坂トンネル

安倍川の鉄橋を越えて 静岡市用宗の町 方沸石の入った賤機山のアルカリ火山岩が裏山に続いて やがてそのありし日の海底火山 高草山塊の胴中を日本坂トンネルですりぬける。

この火山岩は静岡から諏訪湖を通つて日本海の糸魚川にぬけるフォッサ・マグナの西縁の断層沿いに噴きてたもので この日本坂トンネルを越すと地質的に完全に東日本から西日本にとび込んだこととなる。

こうして第一歩を印した西日本は 第三紀層の上面をうずめつくした一面の茶畑が 日本の縮図「静岡」を情緒豊かに車窓に訴える。

南アルプス 大井川の流木 そして島田のパルプ工場昔の大井川の河床 牧の原の洪積台地 ナウマン象がすんでいたというその砂礫の下をトンネルでくぐりぬけると 掛川～袋井～菊川のあたり茶畑はますます盛観を呈する。掛川の第三紀層といつて 日本の第三紀層研究の1つの中心となつているのが この茶畑の下に横たわっている地層～ 海の底に堆積した泥と砂の厚い地層に外ならない。

天龍川の三角洲と浜名湖の溺れ谷

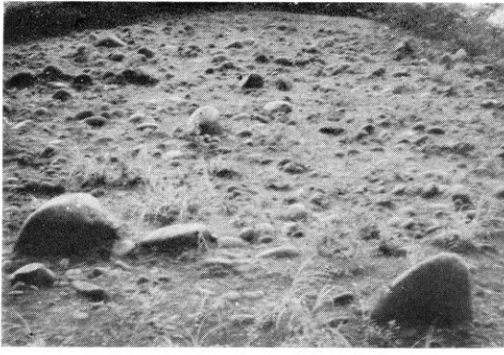
牧の原と同じ条件の天竜川の昔の河床が磐田市の背面に迫つて 磐田々原となつている。



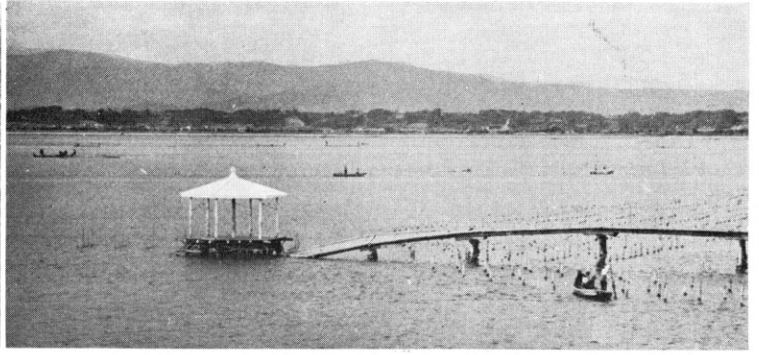
天 竜 川 の 三 角 洲 (航 空 写 真)



井戸水と適度の塩水が必要な
浜名湖畔の「うなぎ」の養殖場



洪積台地をかたちづくっている
巨礫層の断崖(70°位の仰角)



浜名湖と静岡・愛知・長野3県境の
古生層の山地 (弁天島から)

磐田市の南部 車窓の左に見える沖積低地はかつて磐田海といわれたところ。磐田ヶ原に降つた雨水が台地の端から泉となり また豊富な地下水を前面の平野に供給しているが その先には 遠州灘沿いの砂丘—東海砂丘が東西 40 km になんなんとして連らなつて その地下水の流出をはばんでしまう。

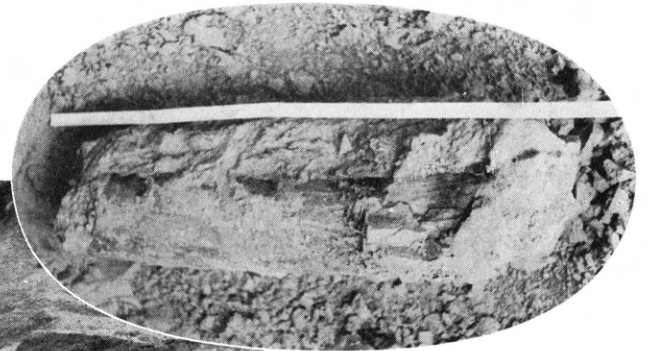
はるかきのぞむ 天竜川の河口 その巨大な三角洲 3億3,000万tの水をたたえる佐久間ダムが閉め切られた当時は 地下水が減つて困つたという浜松市 そこはまた有名な楽器の都であり 染色・製糸の工場が沢山に並びそれらが大量の地下水を使つている。

三方ヶ原は磐田ヶ原と同じ天竜川右岸の洪積台地 その砂礫におおわれた台地上 かつての飛行場が開拓村 さらにそれが今は工場と住宅とにおきかわろうとしている。三方ヶ原の表面が南

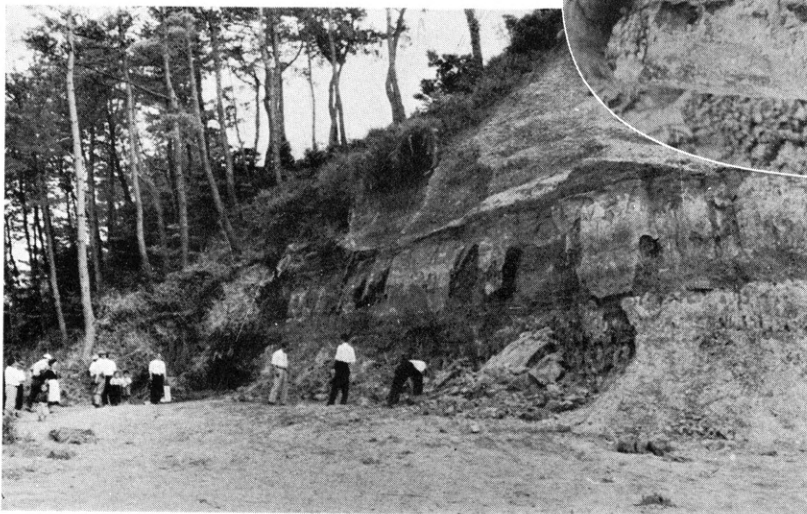
西に傾き沈むところ そこに72km²の湖面を有する本邦第10番目の湖沼 浜名湖がある。弁天島で中継ぎをして渡るその東海道の車窓の展望は 左に太平洋の怒濤打ち寄せる今切の瀬戸 右にしびの浮く深度15mの湖水を通して出入りの多い湖岸線の上に古生層でできた 三遠信国境山脈を望むあたり 晴天でさえあればさわやかな車窓展望の一こまでである。

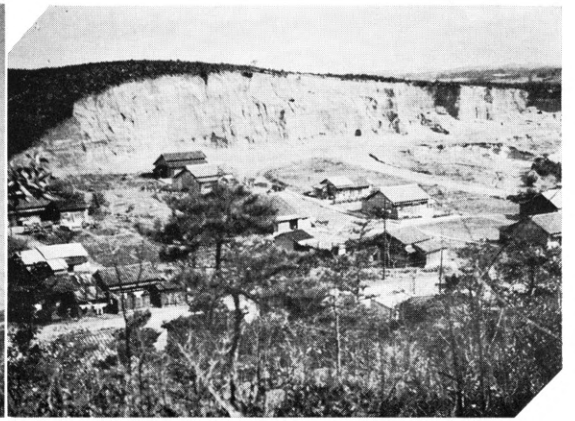
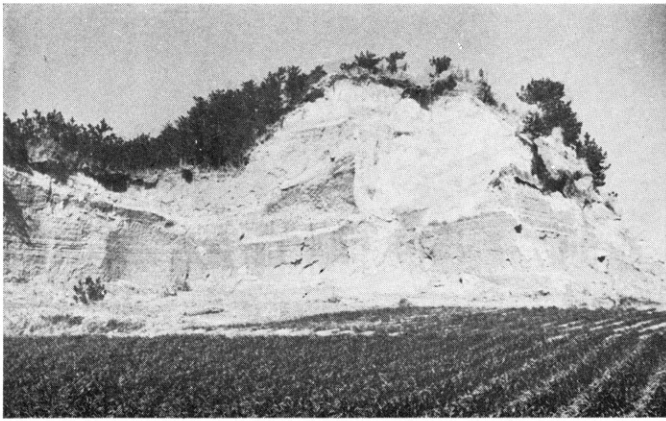
三河と尾張

東海道にそんな駅があつたかなどといわれそうな名の新所原を過ぎると 古生層の珪岩が車窓に迫り 静岡愛知の県境。それから先右に一望開拓の進んだ高師・



浜松西方の台地中の「ナウマン象」の化石の発掘作業と掘り出されたその牙





名古屋東山第三紀層の大露頭
(天白川沿い上八事付近)



↑
三方原台地の末端にあたる洪積層（上の白い部分）と第三紀層（浜名湖西岸）
←
高師原の掘出しもの「高師小僧」

天伯の高原がしばらく続く。

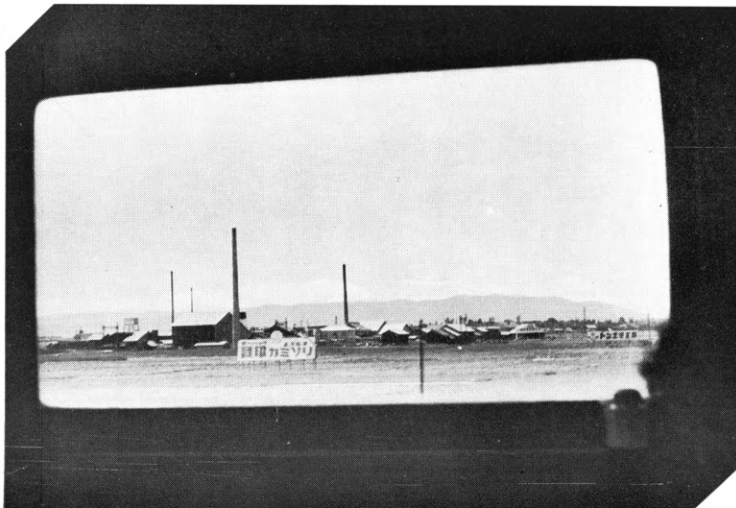
酸化鉄が土中で棒状に固つた俗称「高師小僧」がその畑の中から掘り出される。小僧とはいみじくも名づけたもの。

豊橋駅を通り 豊川でまた西日本の地質を 外側（太平洋側）と内側（日本海側）とにわけている断層～中央構造線を外から内にまたぎ越す。この断層は諏訪湖に

その北端を發し 赤石山脈の西に沿つて豊川に下がり 紀伊半島・四国にわたり さらに九州にぬけ 日本をめぐりに横に割つている。

その内側に入ると領家変成岩と名付けられた片麻岩と花崗岩の世界である。愛知三津の先でその花崗岩のトンネルに入り 程なく名勝蒲郡 渥美湾に浮かぶ花崗岩の島山のかげが瀬戸内海を思わせる。

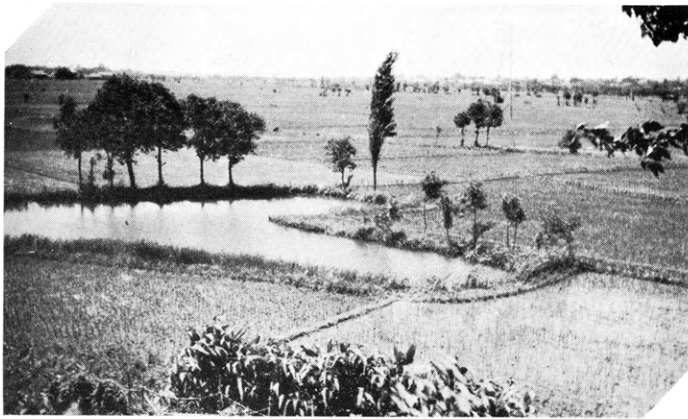
程なく列車は北に方向を転じ 矢作川の平野 その昔 矢作川の支流乙川に浮かんだ舟上で 水車で紡績を営んだというガラ紡は いまは近代紡績工場の傍に面影のこしているにすぎないが かつて5万石の城下町をほこつた岡崎は起伏の多い住宅都市となつて 矢作川を水源とする水道が 巨大な甲山の配水塔から 全市にあまね



車窓からみた濃尾平野 沢山の工場とその背後に直線状に連なる鈴鹿山脈とがしばらくつづく



珪岩の多い木曾川犬山橋下流 木曾川の水はこの石河原で地下に滲透し 一の宮や岐阜県側の豊富な地下水の源となっている



車窓からみた濃尾平野
豊富な水が広々とした水田と合わさって印象に残る

く水を供給している。

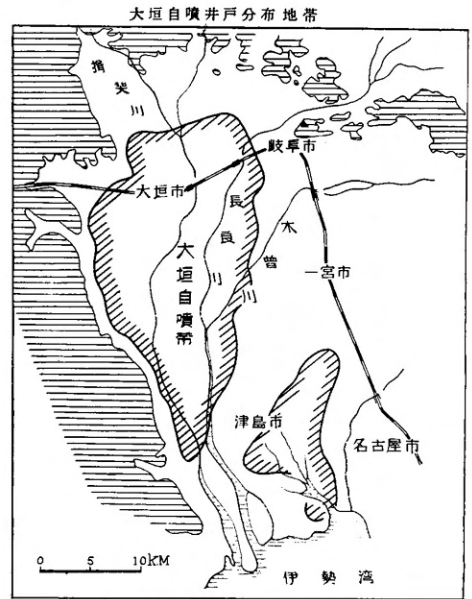
安城・刈谷と再び洪積台地をよぎり 第三紀層を基盤とする知多半島の根元を 桶狭間の古戦場越しに一路北上 列車は尾張名古屋に入る。

水豊かに農工盛んな濃尾の平野

その昔しやちほこと熱田神宮で売り出した名古屋は今やテレビ塔で置き替えられている。

6大都市の中で一番小さな行政区画を持ち 正味の通過時間は列車でももの15分を出ない。

染色工場や毛紡の工場が増加の一途をたどっている濃尾平野のまつただなか尾張一の宮。珪岩の小山に築かれた犬山城のかけをうつす 木曾川を渡つて間もなく岐



阜市。

茶をたてるに一番よいといわれる長良川の清流にのぞむそこ金華山は 濃尾平野の北を取りまく珪岩の多い古生層の山地の一角である。

これらの古生層のおかげで 濃尾平野には珪岩の転石が 全国的にも珍しい程多い。古生層の遠山を右の車窓に 水豊かな北濃の水田地帯の中央を一直線に西に走ると 間もなく水都大垣。

本邦最大の自噴井戸の分布地帯がここから南に向かつて約 40 km 揖斐川の河口近くまで続いている。

(地質部)

関ヶ原 伊吹山 池田山 能郷白山



岐阜市金華山頂から望む濃尾平野